

雌阿寒岳

1 概況

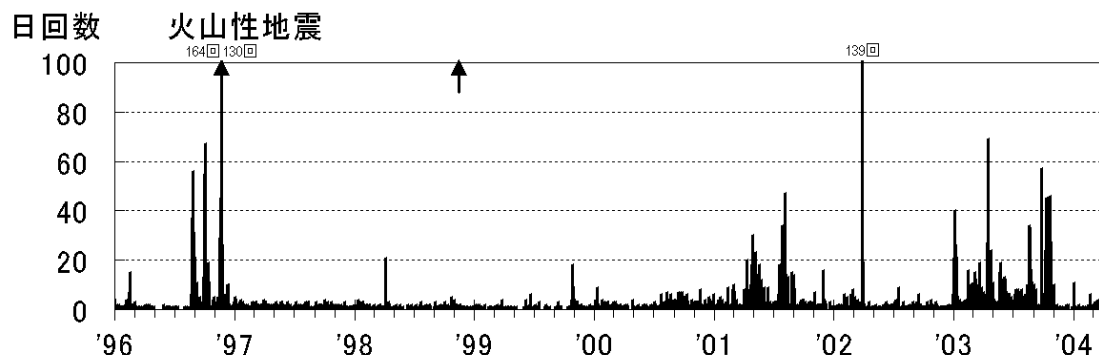
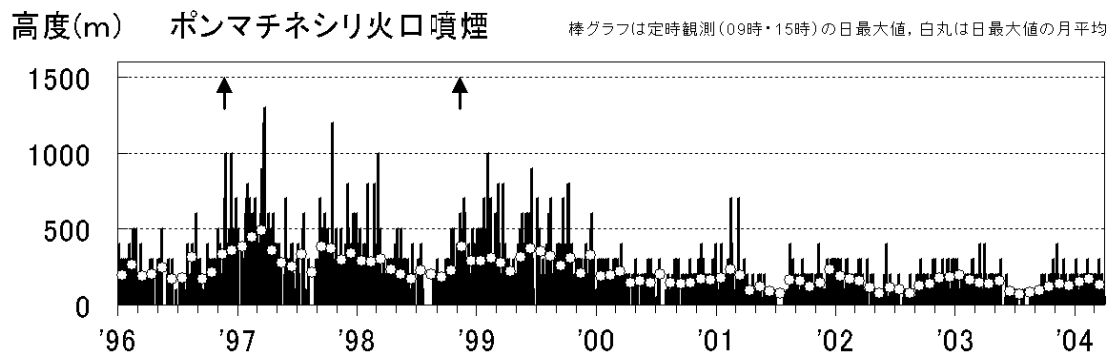
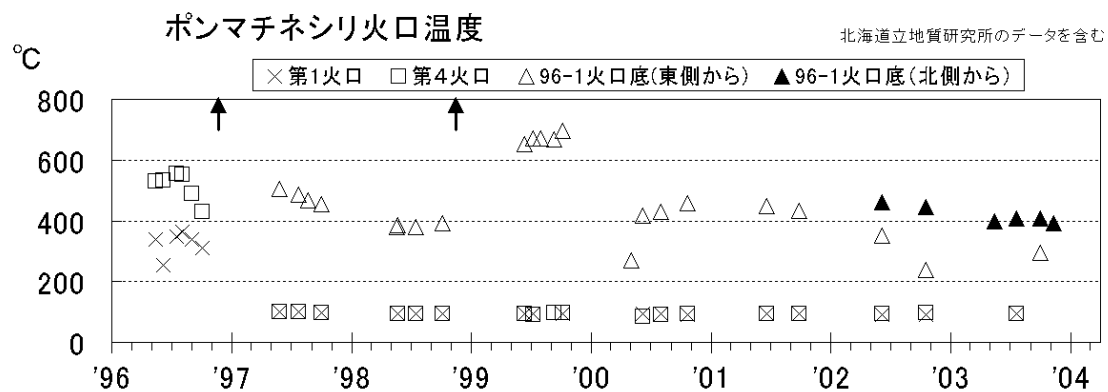
火山活動はやや活発な状態が続いています。

ポンマチネシリ 96-1 火口の温度はこれまでと同様高温の状態が続いていると推定されます。

噴煙はやや少なく、火山性地震も少ない状態が続いています。

2 噴煙の状況

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に特段の変化はなく、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100～200m で推移しました。噴煙の高さや噴出の勢いは 2000 年以降やや低下した状態が続いていますが、火口は依然として高温状態が続いていると推定されます。



日データによる火山活動経過図（1996 年 1 月 1 日～2004 年 3 月 31 日） ↑印は噴火

3 地震の発生状況

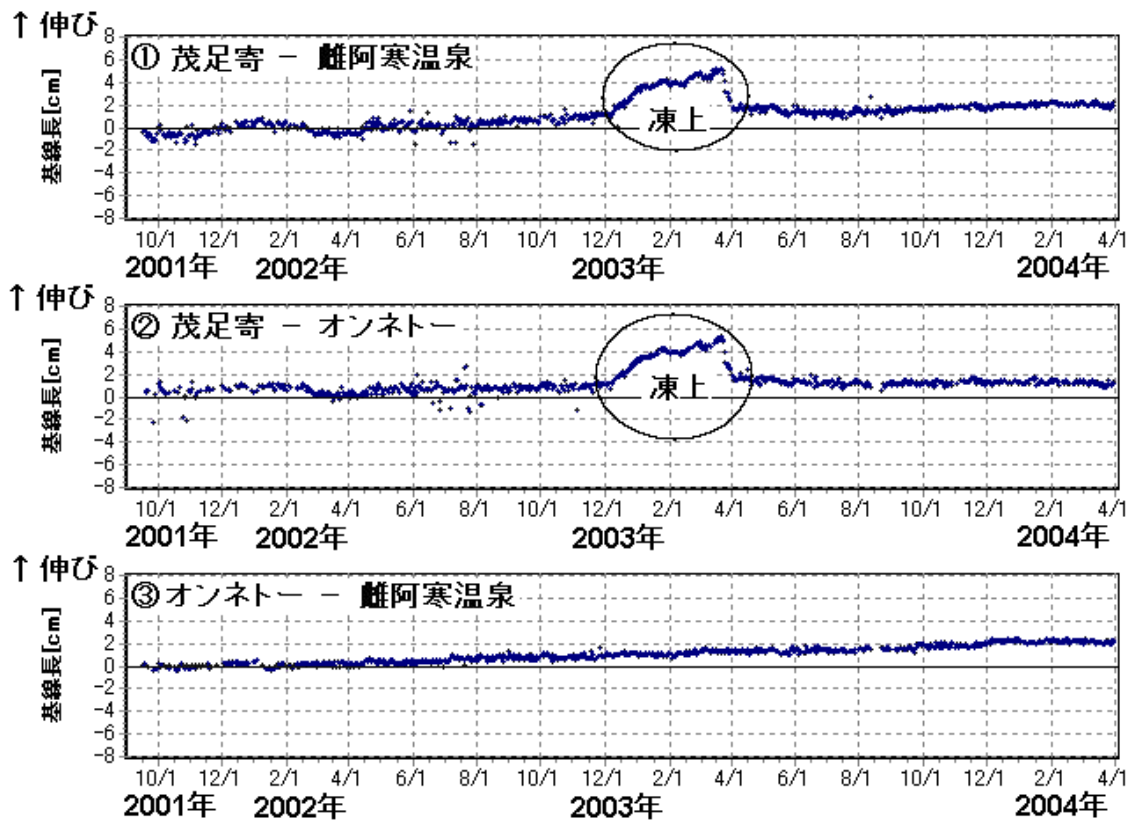
火山性地震の回数は 1 日あたり 0～4 回で、昨年 11 月以降少ない状態が続いています。火山性微動は昨年 1 月以降観測されていません。

月別地震・微動回数（B 点）

2003～2004 年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
地震回数	375	163	155	113	195	156	352	19	12	19	20	17
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4 地殻変動の状況

西麓での GPS 連続観測では、やや伸びの傾向を示す変動が認められていますが、火山活動との関連については今後の推移を見て判断する必要があります。



基線長変化（2001 年 9 月 19 日～2004 年 3 月 31 日）

